

平成 27 年度「笠原の森」笠原中学校による活動報告

笠原中学校の 1 年生 90 名が、ふるさとの森「笠原の森」を舞台に、樹林の働きや樹林整備の意義を学ぶための学習、土砂災害に強い樹林を目指した樹林整備活動に取り組みました。

この活動は、多治見砂防国道事務所、多治見市の支援のもと実施されました。

○学習会 11 月 6 日

室内講義「防災のはなし」「森林のはなし」

野外学習「土砂流出実験」「砂防ダム実験」「降雨体験」

○観察会 11 月 13 日

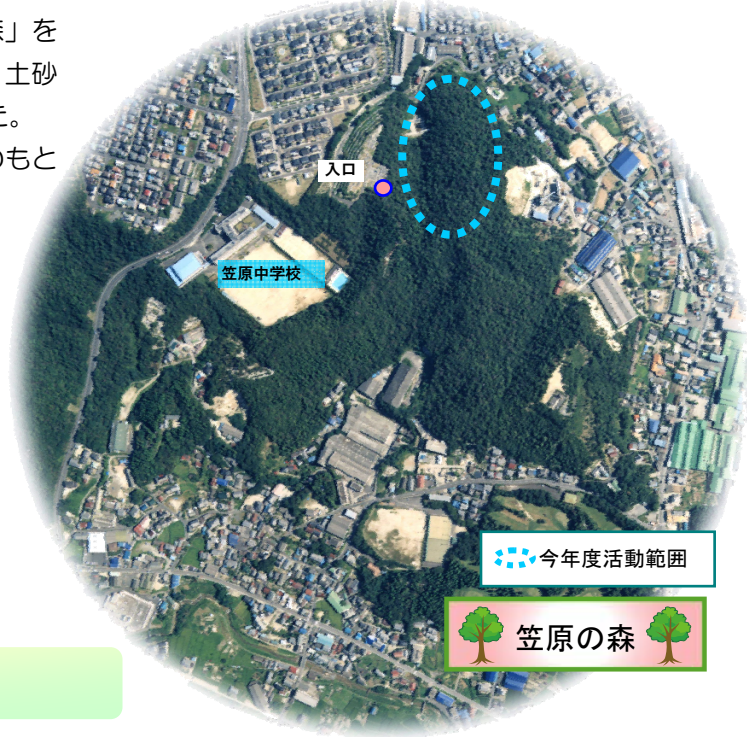
野外学習「砂防堰堤の見学」「森の土の観察」

「森の木の観察」「玉切り体験」

○樹林整備活動 1 月 29 日

野外学習「常緑低木や成長の悪い木の伐採（間引き）」

「整備の効果を確認するための照度計測」



11 / 6 学 習 会

室内講義



防災のはなし

防災のはなしでは、樹林地が荒廃していた笠原町の歴史や樹林整備の必要性を学びました。



《樹林地の荒廃（多治見市笠原町森下地区）》

昔から窯業が盛んであったこの地域は、陶土の採掘や薪炭材の伐採のために、“はげ山”が広がっていました。笠原の森周辺も昭和 20 年代までは、はげ山が広がっていました。

野外実験

多治見砂防国道事務所による様々な実験を体験しました。



土砂流出実験

森がないと土砂が流れ出てしまいました。森って大切ですね。



砂防堰堤実験

砂防堰堤によって、土石流の被害を食い止めることができました。



降雨体験

雨の威力を知りました。時間降水量 100 mmを超えると息苦しくなかった？

【生徒の感想】

★砂防ダムは、限界があるが、土砂災害を防ぐことがわかった。

★土石流が起こるととんでもないことになることがわかった。



11/13 観察会

「笠原の森を知る」を目的として、砂防堰堤の見学・森の土の観察・森の木の観察をしました。

砂防堰堤の見学

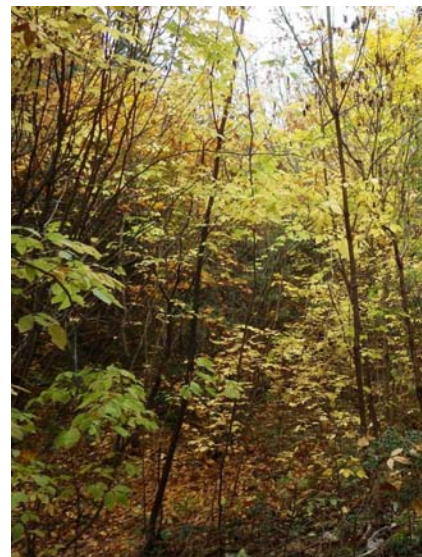


森の中にある砂防堰堤を見学しました。

土や木の観察



岐阜大生や多治見市職員が観察リーダーとなり、土や木を観察しました。はげ山だったことで腐植層が薄いこと、森には様々な植物が生育することを学びました。



コシアブラやタカノツメが見事に黄葉していました。

【生徒の感想】

- ★腐植層が薄く、一見緑に見える山だが、過去に禿山であったことがわかった。
- ★林内には暗い場所があり、整備の必要性を感じた。来週はしっかり作業したい。



11/20 樹林整備活動

「土砂災害に強く、緑豊かな樹林づくり」を目的として、樹林を明るくするための常緑低木の間引きを行い、その効果を確認するために照度計測をしました。ケガなく楽しく作業ができました。

伐採作業



2～3人1組で伐採作業を行いました。

玉切り作業



伐採した木を小さく整理しました。

照度計測



活動の効果について照度計を用いて確認しました。



整備のお陰で、林床は明るくなり、伐採した木も整理されました。

【生徒の感想】

- ★支援者の話をしっかり聞き、安全に伐採作業ができてよかった。
- ★間伐をすることで、林内が明るくなった。その後の照度計測の結果、努力が報われた。

「土岐川流域グリーンベルト整備事業」は、多治見市・土岐市の市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯（グリーンベルト）として、保全・創出することにより、土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全することを目的としています。

作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局

多治見砂防国道事務所

〒507-0023 岐阜県多治見市小田町4-8-6

TEL : (0572) 25-8020

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>